

J R 曾根駅周辺整備に関する地元説明会

日 時：令和 7 年 2 月 9 日(日) 午後 5 時 0 0 分～

場 所：中筋地域交流センター 2 階 多目的ホール

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 J R 曾根駅周辺整備の現状と今後の取り組みについて
- 4 質問・意見
- 5 閉 会

J R 曾根駅周辺整備に係る主な経過

年 度	内 容
昭和 6 2 年度	阿弥陀町連合自治会から陳情書の提出 (J R 曾根駅周辺整備計画)
平成 元 年度	J R 曾根駅周辺整備推進委員会が発足 (駅北周辺の段階的整備、貨物ヤード敷地の確保、南側からの連絡道)
平成 2 年度	高砂市連合自治会から要望書の提出 (J R 曾根駅周辺整備の推進、南口の開設)
平成 6 年度	阿弥陀町連合自治会から要望書の提出 (J R 曾根駅付近の整備事業の推進)
平成 7 年度	阿弥陀町連合自治会から要望書の提出 (市の北西の玄関にふさわしい開発計画の立案の要望)
平成 1 3 年度	地元自治会 1, 7 2 7 名から陳情書の提出 (J R 曾根駅に住民が安全で便利に乗降できる環境整備を要望する陳情)
平成 2 1 年度	第 1 回 J R 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会 (令和 4 年までで計 1 5 回開催。以降は、まちづくり協議会に移行)
平成 2 9 年度	駅周辺道路整備工事 (南池・時光寺準幹線道路)
令和元年度 (平成 3 1 年度)	駅前広場整備工事 (北側のロータリーや駐輪場など)
令和 2 年度	J R 曾根駅南基本調査業務委託 (南口整備に向けて、 J R 協議資料の作成)
令和 3 年度	J R と協議 (南口整備に向けて、 J R と事前協議)
令和 4 年度	J R 曾根駅周辺基本計画策定業務委託 (南口整備工法の検討、 J R と計画協議)
令和 5 年度	J R 曾根駅自由通路等基本設計業務委託 (自由通路や南側駅前広場等の基本設計、 J R と実施協議) 用地測量業務委託及び物件調査業務委託 (南側駅前広場整備に必要な事業用地を取得するための調査)
令和 6 年度	J R 西日本と「自由通路等整備及び駅舎橋上化に関する基本協定」の締結【6 月 18 日】 J R 曾根駅自由通路等詳細設計業務委託 (J R 委託) 春日野・牛谷準幹線道路等詳細設計業務委託 (駅前広場含む) 用地測量業務委託及び物件調査業務委託 (駅構内 J R 施設分含む) J R 曾根駅周辺地区まちづくり計画策定業務委託 用地買収及び物件補償
令和 7 年度 (予定)	J R 曾根駅自由通路等設計工事委託 (J R 委託) J R 曾根駅周辺地区まちづくり計画策定業務委託 J R 曾根駅周辺道路整備工事 用地買収及び物件補償

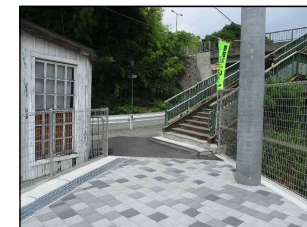
第12回JR曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（令和元年5月31日）要望事項

計画平面図(案)
縮尺：1/300 (A1) 1/600 (A3)

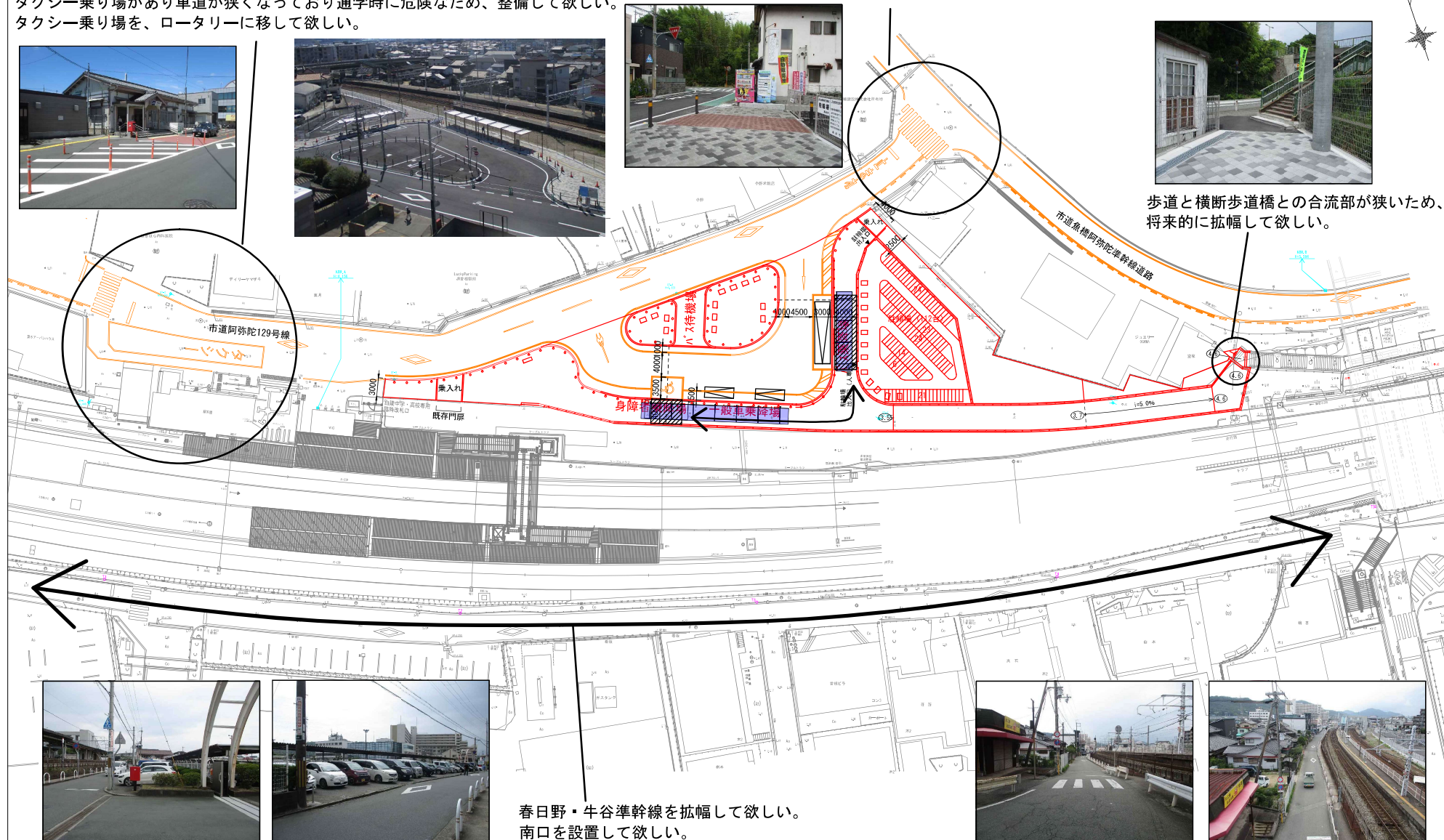
隅切り部を拡幅して欲しい。

駐輪場入口付近が混雑するため、対策して欲しい。

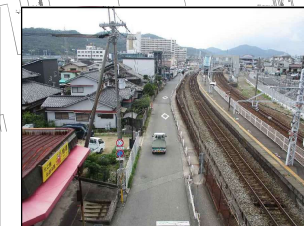
タクシー乗り場があり車道が狭くなっており通学時に危険なため、整備して欲しい。
タクシー乗り場を、ロータリーに移して欲しい。

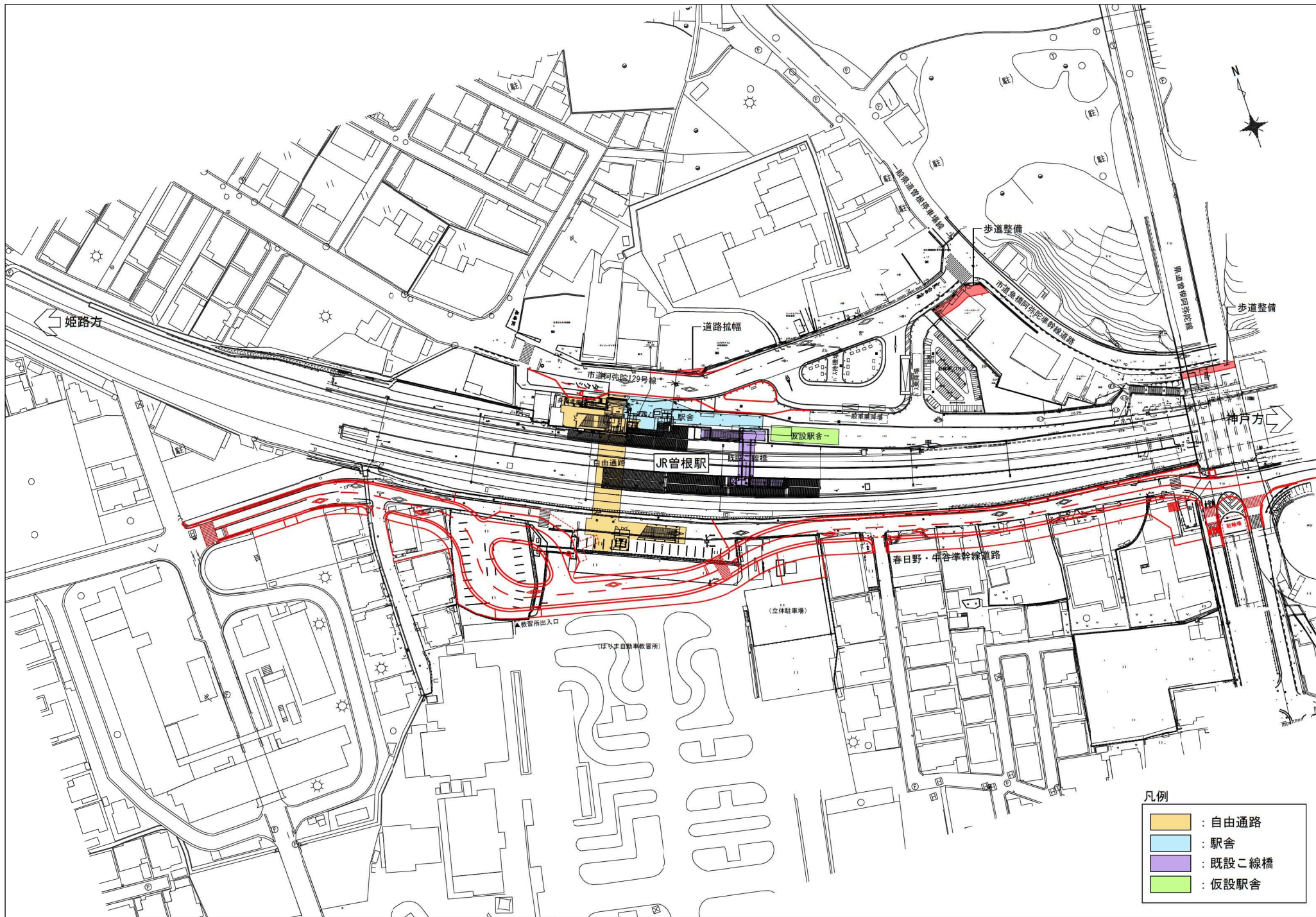


歩道と横断歩道橋との合流部が狭いため、将来的に拡幅して欲しい。



春日野・牛谷準幹線を拡幅して欲しい。
南口を設置して欲しい。





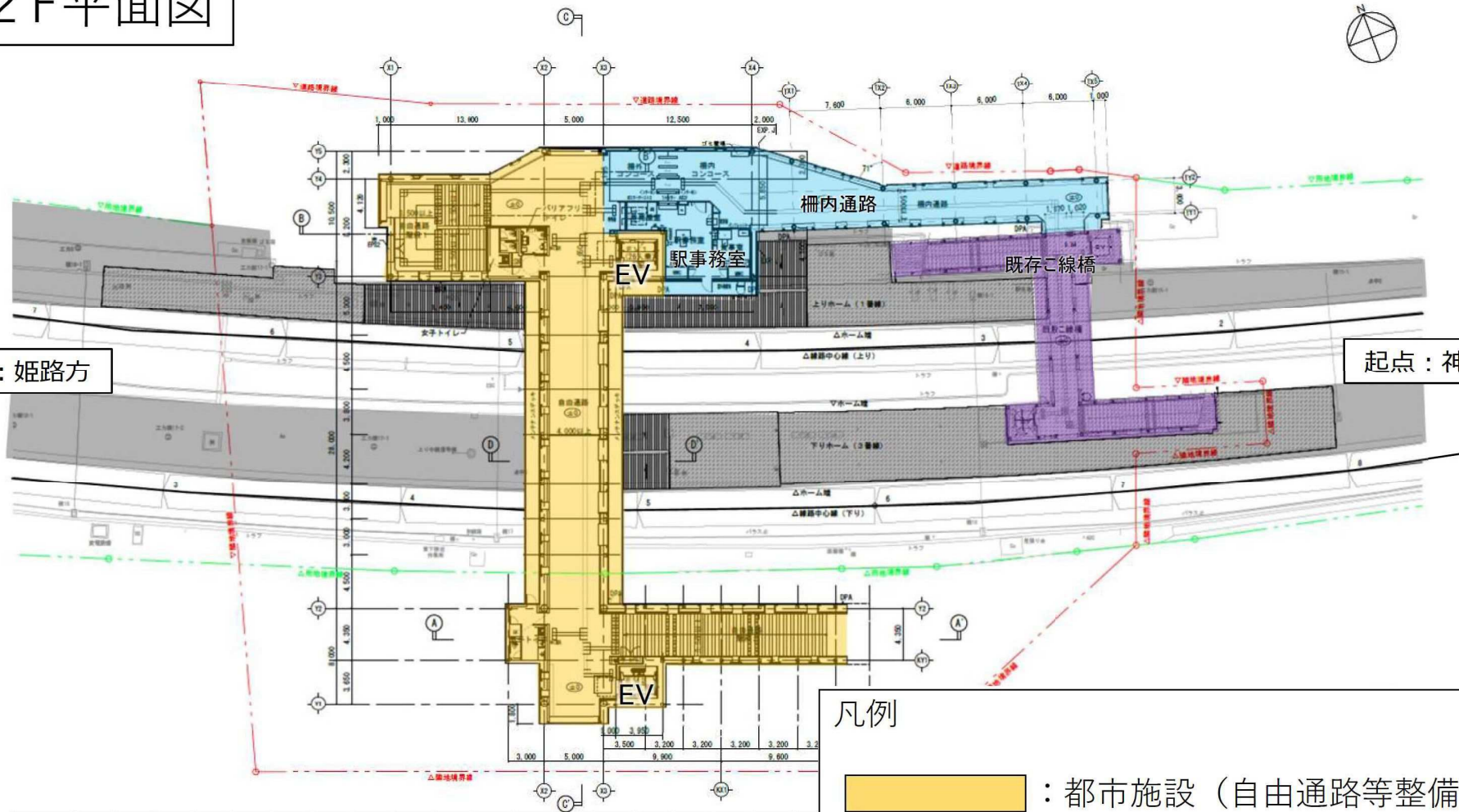
JR神戸線曽根駅自由通路等整備及び駅舎橋上化に関する基本協定書

2F平面図

4

終点：姫路方

起点：神戸方



凡例

都市施設（自由通路等整備）

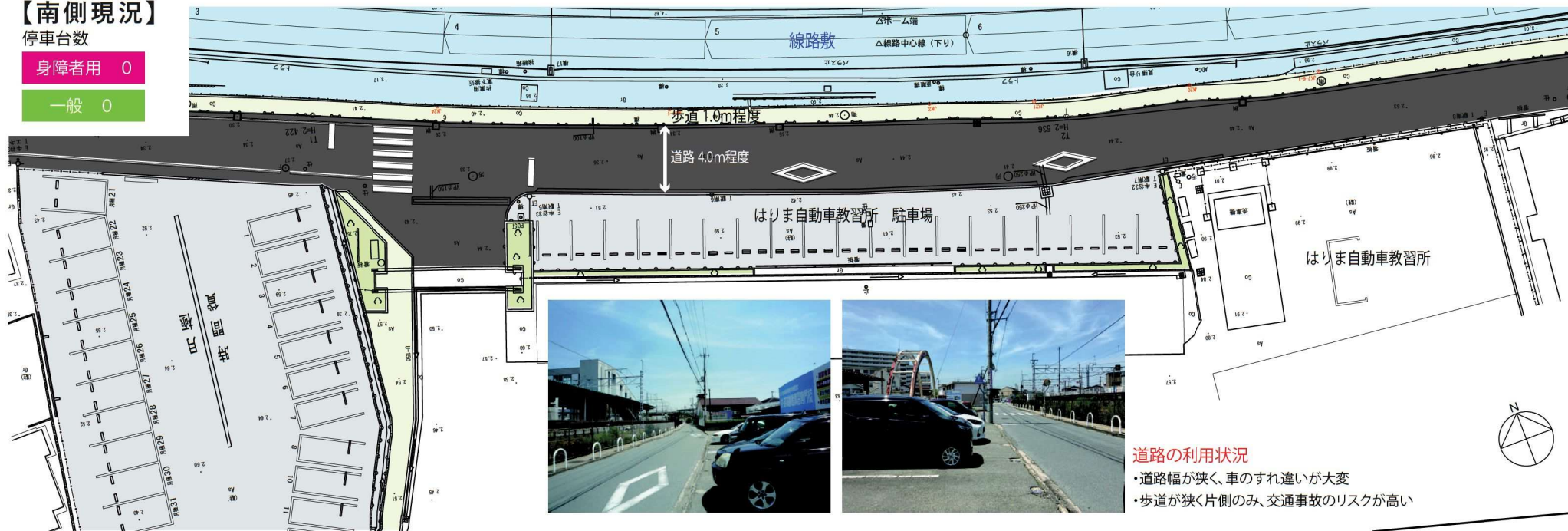
鉄道施設（駅舎橋上化）

【南側現況】

停車台数

身障者用 0

一般 0



道路の利用状況

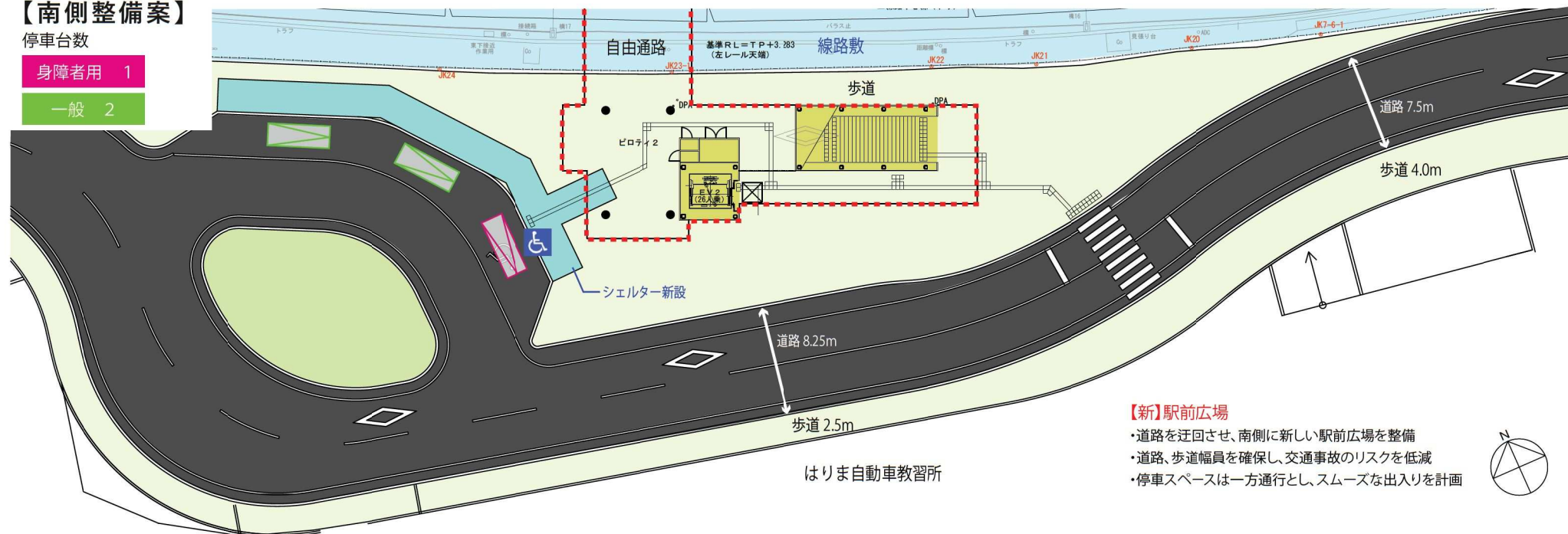
- ・道路幅が狭く、車のすれ違いが大変
- ・歩道が狭く片側のみ、交通事故のリスクが高い

【南側整備案】

停車台数

身障者用 1

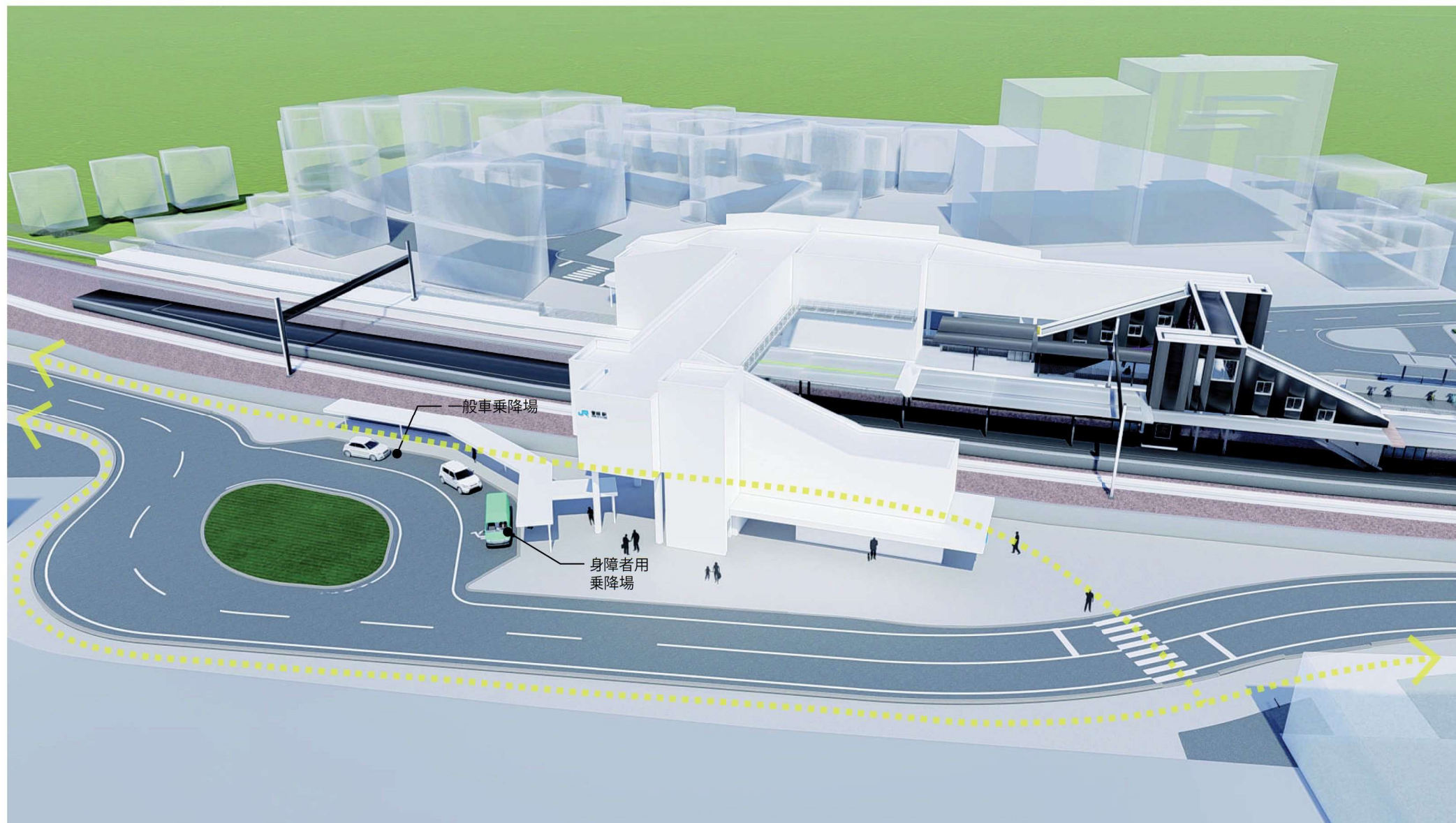
一般 2



【新】駅前広場

- ・道路を迂回させ、南側に新しい駅前広場を整備
- ・道路、歩道幅員を確保し、交通事故のリスクを低減
- ・停車スペースは一方通行とし、スムーズな出入りを計画

南側整備案



【北側現況】

停車台数

身障者用 1	タクシー 3
一般 2	バス 2



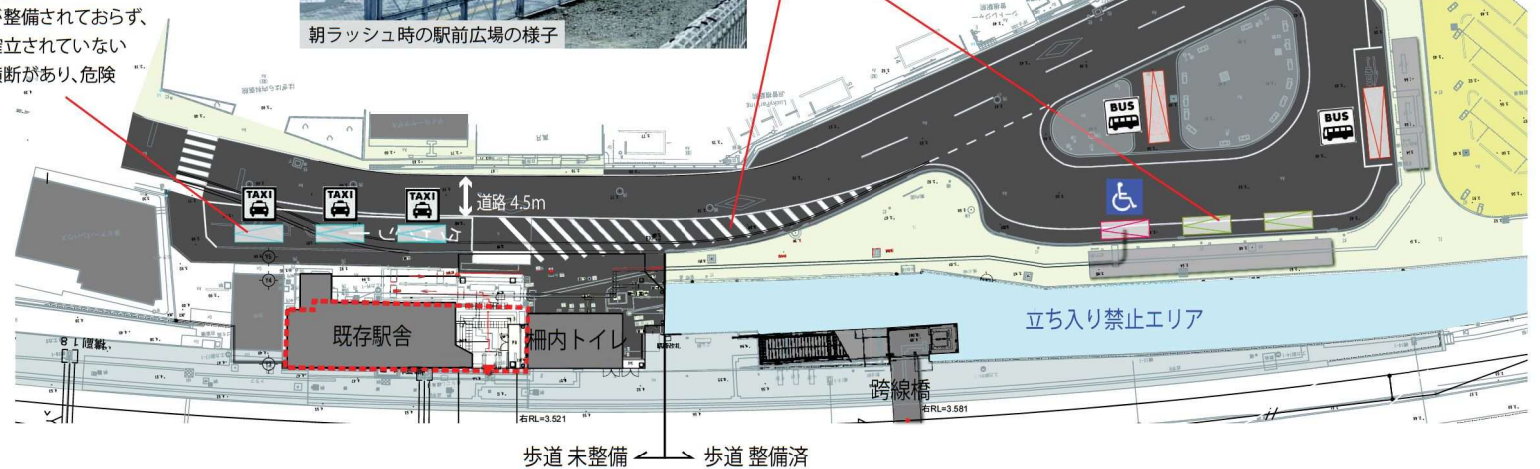
タクシーのりば

駅前の歩道が整備されておらず、歩車分離が確立されていない歩行者の乱横断があり、危険



駅前広場

ロータリー内に一般車の乗降場があるが、駅舎と広場が遠いため、駅近くに停車する車が多くみられる朝ラッシュ時は交通渋滞が発生する



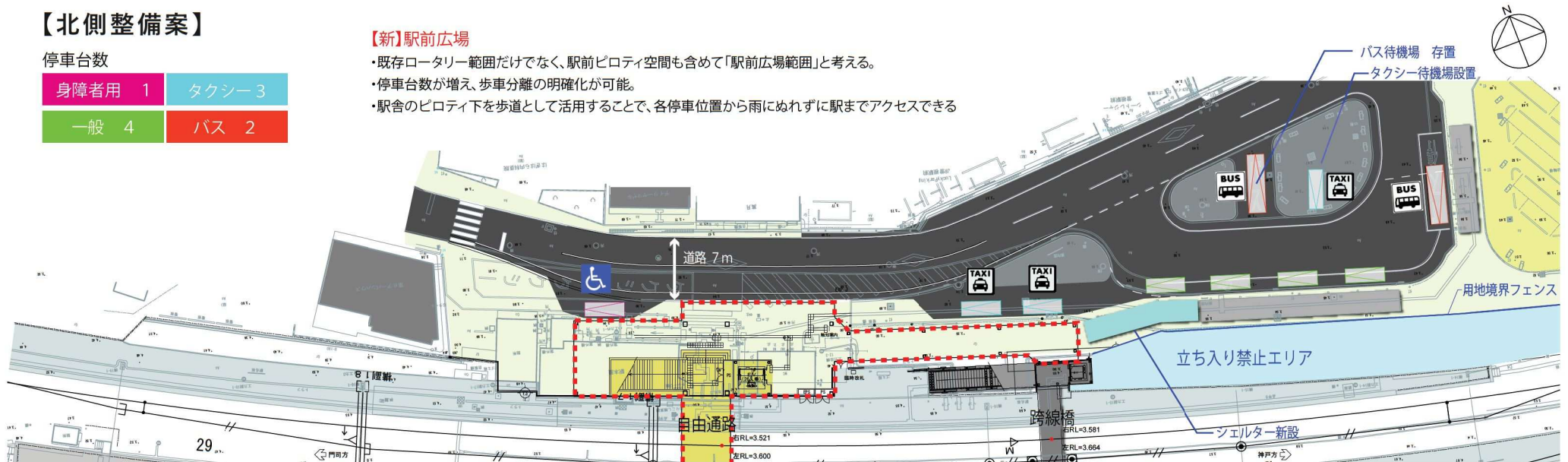
【北側整備案】

停車台数

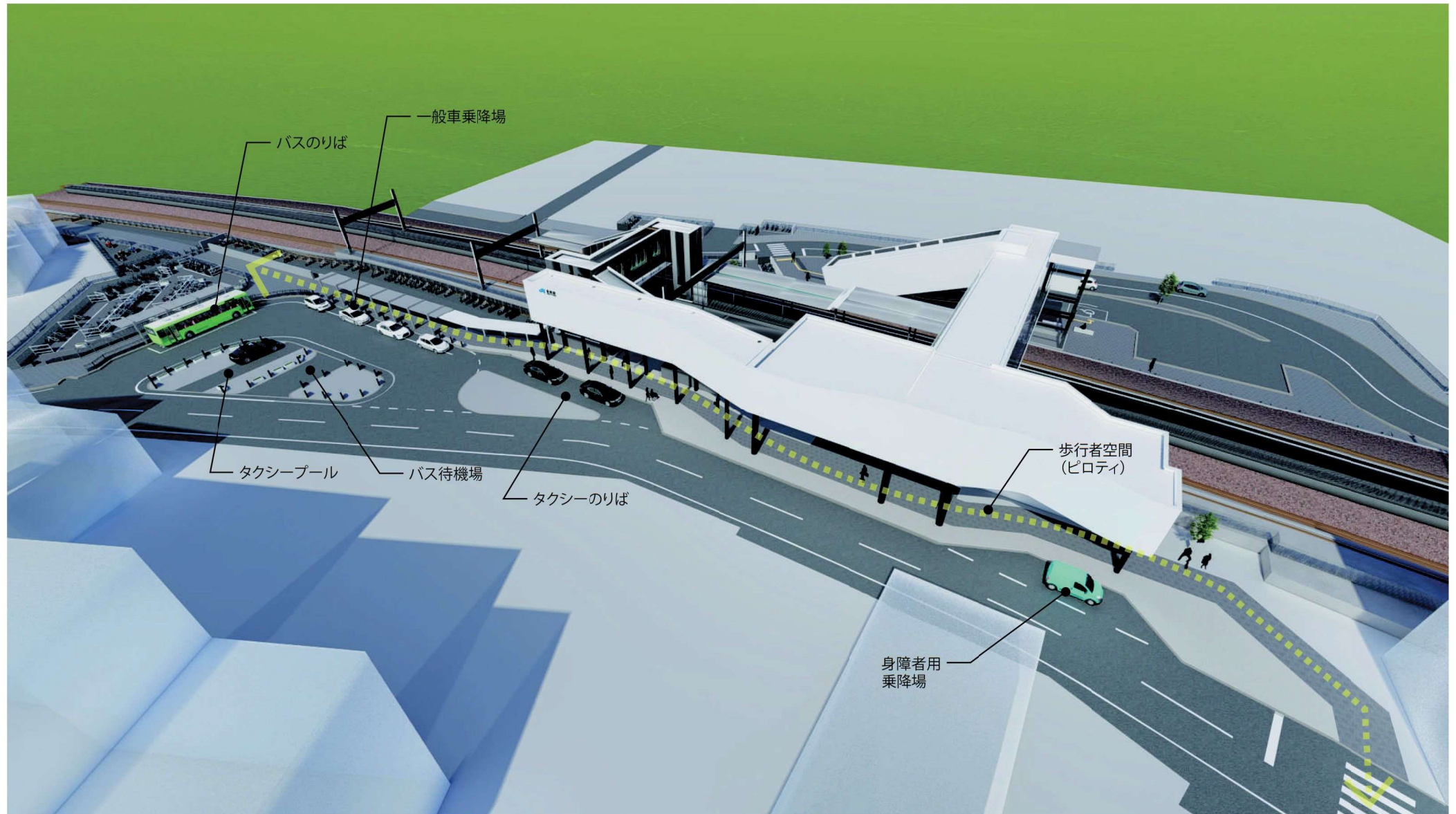
身障者用 1	タクシー 3
一般 4	バス 2

【新】駅前広場

- 既存ロータリー範囲だけでなく、駅前ピロティ空間も含めて「駅前広場範囲」と考える。
- 停車台数が増え、歩車分離の明確化が可能。
- 駅舎のピロティ下を歩道として活用することで、各停車位置から雨にぬれずに駅までアクセスできる



北側整備案



A 案 ひと結び案

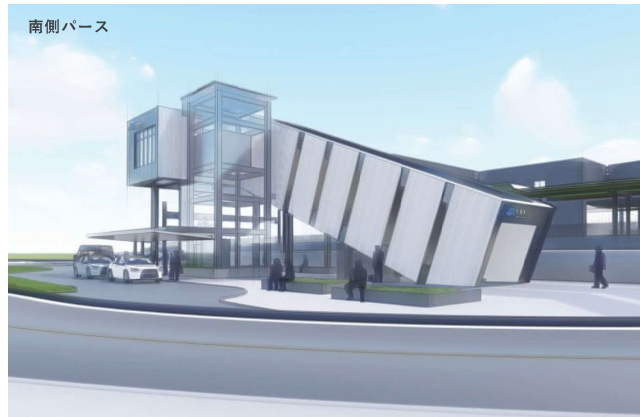
取扱注意※外観はイメージで、最終形のものではありません。

駅利用者の多くが白陵中高の学生であることから、学生のためのクリーンな駅をイメージした案。
白陵の「白」をベースに、工業都市を表す金属スリットのデザインとした。

北側バース



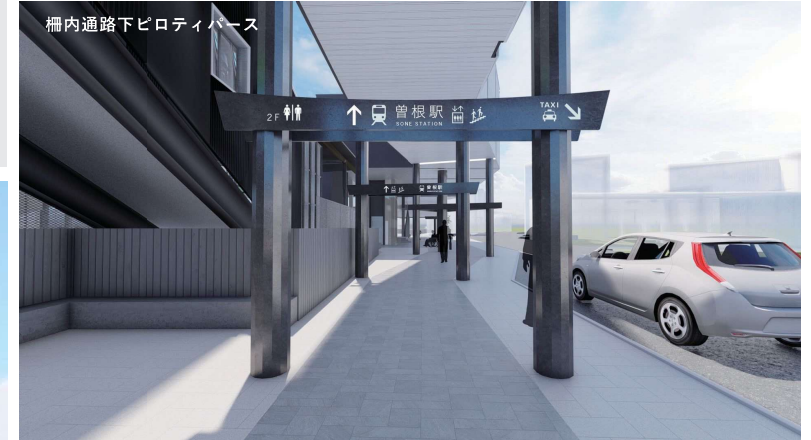
南側バース



北西側バース



柵内通路下プロティバース



自由通路内観イメージ



柵内通路内観バース



※バースはイメージです。最終形の外観ではありません。

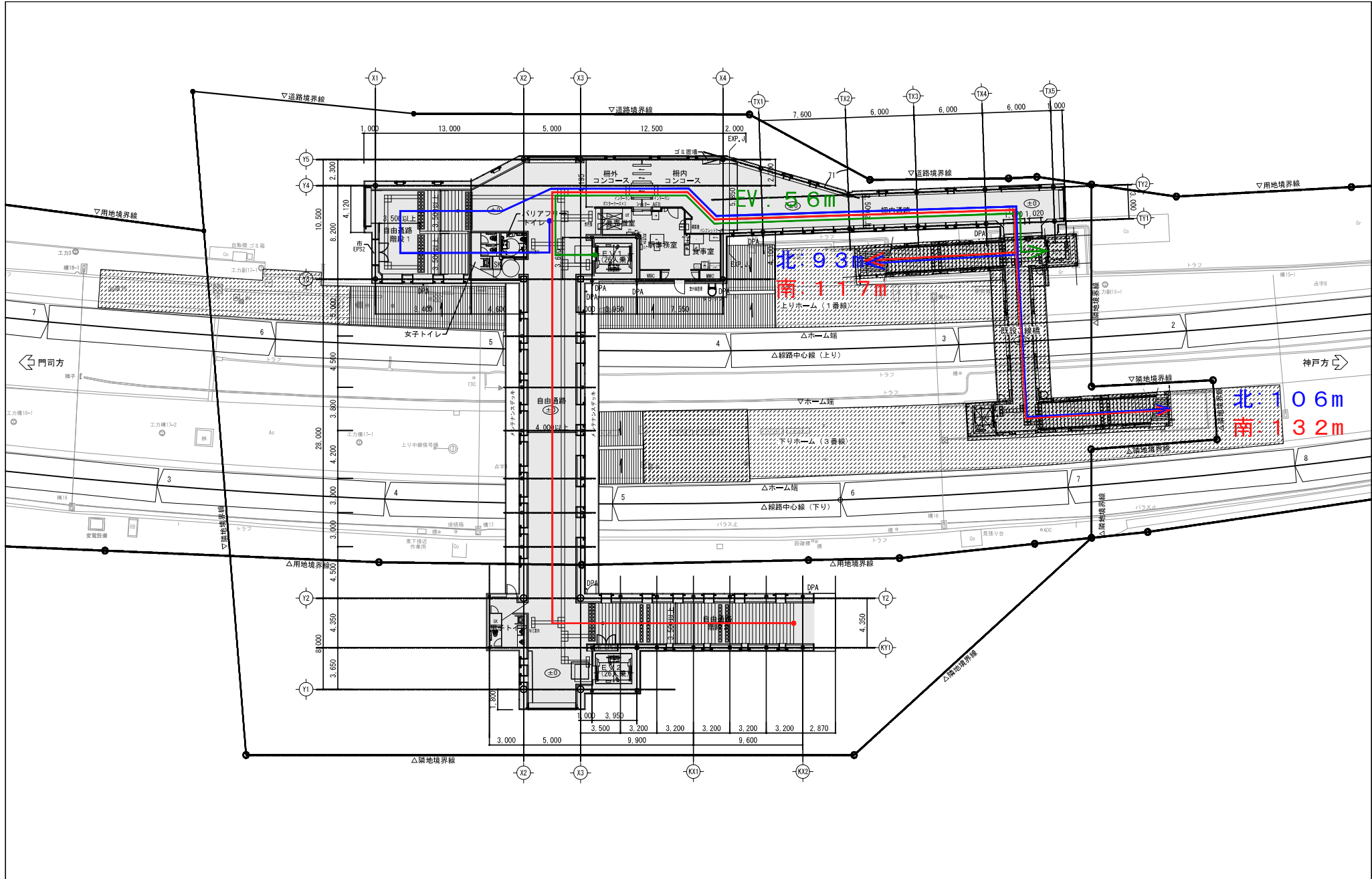
J R 曾根駅自由通路及び橋上駅 イメージパース

【北東 鳥瞰】



【南東 鳥瞰】





特 記												ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 一般社団法人 建設士会	工 事 名	JR管根駅自由通路等基本設計業務委託					
													図 番 名	A-			NO		
													SCALE						
													設計番号	223-0062					

JR曾根駅周辺整備事業スケジュール（案）

	令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度			
自由通路及び橋上駅																				
用地買収																				
設計																				
仮駅																				
撤去・復旧																				
本体																				
周辺道路及び駅前広場																				
用地買収																				
整備工事																				

自由通路・橋上駅舎
供用開始予定

■ J R 曾根駅舎及び周辺整備に係る地元要望事項と整備方針について

1 地元要望事項

第 11 回 JR 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（平成 31 年 1 月 24 日）⇒北側駅前広場整備前

第 12 回 JR 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（令和元年 5 月 31 日）⇒北側駅前広場整備前

第 13 回 JR 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（令和 2 年 7 月 9 日）⇒北側駅前広場整備後

1) 北側道路（市道阿弥陀 129 号線及び魚橋・阿弥陀準幹線道路）

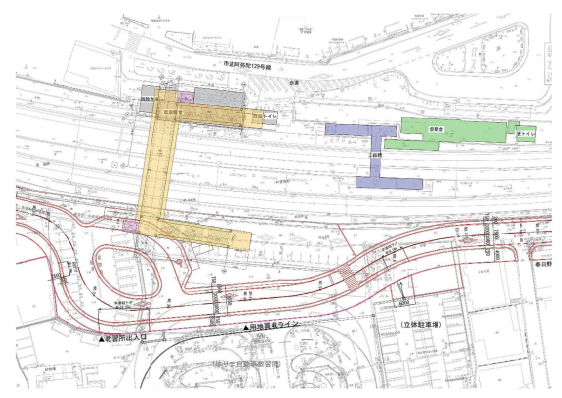
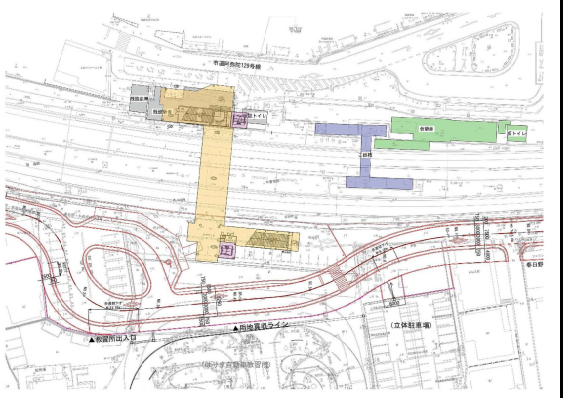
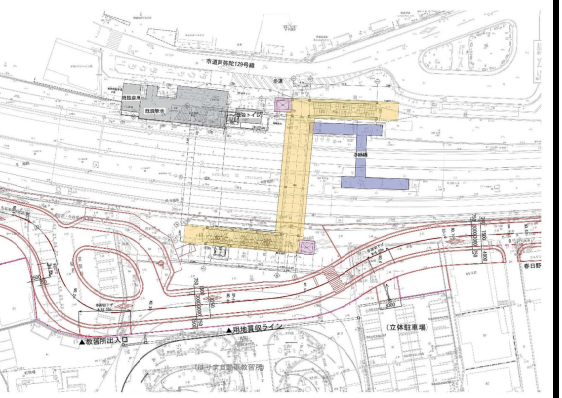
- ・歩道（通学路）の整備
- ・車道の拡幅
- ・タクシー乗り場の移転

2) 駅南側からのアクセス向上及び道路拡幅（春日野・牛谷準幹線道路）

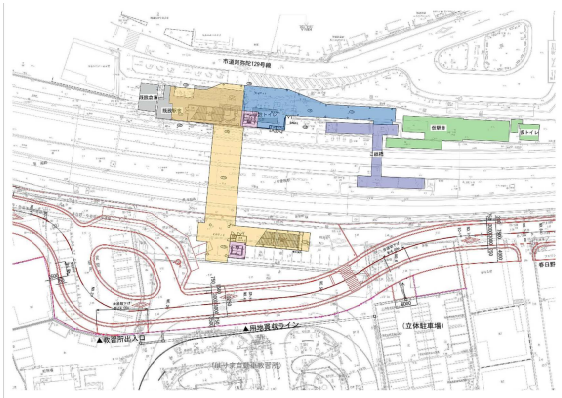
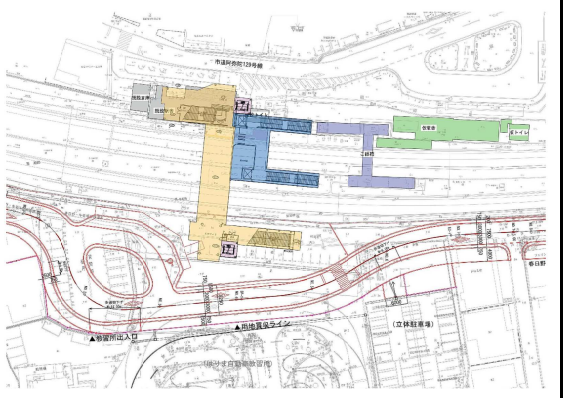
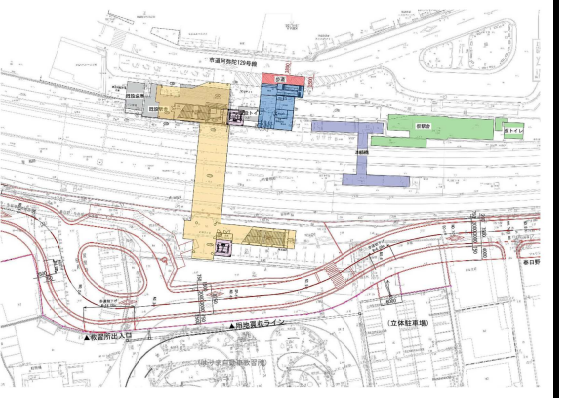
2 整備方針

番号	整備箇所	整備方針
1	自由通路について	高砂市が所有、管理する道路（市道認定）となるため、市が決定、整備を行います。
2	駅舎及び連絡通路（柵内通路）について	JR 西日本が所有、管理する施設となるため、JR 西日本が決定、整備を行います。
3	既設跨線橋及びエレベーターについて	建設費の 3 分の 2 は税金を財源としているため、できるだけ長期にわたり使用したいと考えています。 【平成 23 年 3 月より供用開始（建設費：約 2.2 億円）】

JR曾根駅 自由通路 計画案比較表

	A 西側案		B 中央案		C 東側案	
配置図						
駅舎	△	既設駅舎の移設及び仮駅舎が必要	△	既設駅舎の移設及び仮駅舎が必要	○	既設駅舎は存置、仮駅舎が不要
南側駅前広場との調整	×	南側駅前広場にロータリーが設置できない	○	南側駅前広場にロータリーが設置できる	○	南側駅前広場にロータリーが設置できる
構造計画	○	自由通路の距離が短く、鉄道敷内に柱の設置が不要	○	自由通路の距離が短く、鉄道敷内に柱の設置が不要	×	自由通路の距離が長く、鉄道敷内に柱の設置が必要
評価	×	鉄道敷内に柱の設置は不要となるが、南側駅前広場にロータリーが設置できない。	○	鉄道敷内に柱の設置は不要で、南側駅前広場にロータリーが設置できる。	×	南側駅前広場にロータリーは設置できるが、鉄道敷内に柱の設置が必要となるため、施工できない。

JR曾根駅 新設駅舎 計画案比較表

	Ⅰ 案（現計画）		Ⅱ 案（宝殿駅タイプ）		Ⅲ 案（地平駅）	
配置図						
安全性	○	安全基準を満たしている	○	安全基準を満たしている	○	安全基準を満たしている
地元要望への対応	○	北側道路の拡幅ができる（車道、歩道）	○	北側道路の拡幅ができる（車道、歩道）	×	北側道路の拡幅ができない（車道、歩道）
利便性	△	北側の動線が長く、Ⅱ 案より利便性に劣る	○	北・南ともに動線が短く、利便性に優れる	△	南側の動線が長く、Ⅱ 案より利便性に劣る
施工性	○	線路外での作業のため制約が少なく、施工性に優れている	△	線路上空での作業のため制約が多く、施工性に劣り、工事期間も長くなる	○	線路外での作業のため制約が少なく、施工性に優れている
跨線橋	○	既設跨線橋を利用できる	△	既設跨線橋の撤去が必要	○	既設跨線橋を利用できる
経済性	○	安価（事業費約16.9億円）	×	最も高価（事業費約31.9億円）	○	最も安価（事業費約13.5億円）
評価	○	利便性においてⅡ 案より劣るが、北側道路への地元要望への対応も可能で、施工性等において最も優れている。	×	利便性は優れており、北側道路への地元要望への対応も可能だが、施工性、経済性において劣っている。	×	施工性等についてはⅠ 案と同様で、最も安価ではあるが、北側道路への地元要望への対応が不可である。